

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース											
ワークショップ2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選4	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	築地史郎			実務 経験	有	職種	画家				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高める。											
到達目標											
主として人物や静物をモチーフとして立体的に表現するための見方や方法を会得し実践する。人物クロッキーでは様々な角度から描くことができ、骨格や筋肉も表現できるようになり表現者としての基礎力の強化をする。アニメーション制作における背景美術の役割を理解する。											
授業方法											
各課題は講師のデモンストレーションを見ながら実践する。実技面での個別指導は毎回あるものとする。人物クロッキーは画力向上のため毎行い、初期は静止したモデルを5分程度で描くが、学生の習熟度に従いムービングや短時間クロッキーを取り入れる。											
成績評価方法											
課題の出来と提出を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度も評価に加える。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。											
教科書教材											
クロッキー帳3～4Bの鉛筆。資料を配布し参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	人物クロッキー応用とまとめ										
第2回	人物クロッキー・静物デッサン(1)応用とまとめ										
第3回	人物クロッキー・静物デッサン(2)応用とまとめ										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 アニメーションコース

ワークショップ2

第4回	静物デッサンの仕上げと採点応用とまとめ
第5回	ヌードクロッキー(1)応用とまとめ
第6回	ヌードクロッキー(2)応用とまとめ
第7回	面取り石膏像デッサン(1)応用とまとめ
第8回	面取り石膏像デッサン(2)応用とまとめ
第9回	面取り石膏像デッサン(3)応用とまとめ
第10回	面取り石膏像デッサン仕上げと講評応用とまとめ
第11回	木炭による石膏首像デッサン(1)応用とまとめ
第12回	木炭による石膏首像デッサン(2)応用とまとめ
第13回	木炭による石膏首像デッサン(3)応用とまとめ
第14回	石膏首像デッサン仕上げと講評応用とまとめ
第15回	学年のまとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース											
ワークショップ2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選4	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	山下恵			実務 経験	有	職種	カラーリスト、美容師				
授業概要											
色彩検定3級、色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1取得につなげるスキルを習得し、色彩演習を通して色彩論を学びながら社会と個のしくみも学んでいくことがねらいである。											
到達目標											
色彩の基礎知識と配色方法等を学び、センスだけに頼らない基盤をつくり、自分の作品に適用できるようになることが目的である。現場で表現・演出ができるようになることが最終目標である。											
授業方法											
法則的配色、人の心理や感情に影響を与える配色、イメージ配色の講義と実習を主に行う。イメージ配色では五感をはたらかせて想像力を引き出し、また高める実習を行う。											
成績評価方法											
積極的な授業参加と授業態度、および課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
忘れ物をしないこと。課題提出締め切り日は守ること。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。作画は量なので、多く描けるように努力すること。											
教科書教材											
配色カード、スティックのり、スケッチパッド											
回数	授業計画										
第1回	好きな色と苦手な色・単色から受けるイメージを表現、自分の嗜好を客観視する										
第2回	色相・明度・彩度・清色・濁色・トーンなど色を分解して見る										
第3回	色相・明度・彩度・清色・濁色・トーンなど、属性の中で見極め練習を実習する										

ワークショップ 2

第4回	心理・感情効果、対比・同化効果について学ぶ
第5回	光・物体・目から色への変換の仕組みを知る、混色・色彩調和論について学ぶ
第6回	味覚・嗅覚によるイメージ配色を作成する
第7回	聴覚・触覚によるイメージ配色を作成する
第8回	色相による配色について理解する
第9回	トーンによる配色について理解する
第10回	アクセントカラー・セパレーションカラー・グラデーションカラーなどを理解する
第11回	法則性に沿った配色を理解する
第12回	色布（ドレープ）を顔の近くにあてた時の色の属性別による顔の変化を見る
第13回	グループワークでパーソナルカラー（似合う色調域）を探る体験をする
第14回	自分でキャラクターをデザインし効果的な配色を考える
第15回	キャラクターの配色を完成させる、配色の説明をしながら発表をする

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 マンガコース											
ワークショップ2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選4	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	なにわぎひろ			実務 経験	有	職種	漫画家				
授業概要											
アナログで漫画を制作し、冊子としてまとめ、作品制作を理解する。											
到達目標											
頒布・販売可能なクオリティのコピー本を制作する。											
授業方法											
個人またはグループワークによる漫画制作を行う。											
成績評価方法											
作品の提出により評価する。											
履修上の注意											
作品制作は、個人またはグループで行うが、個人としての主張と協調性が試されるので注意してほしい。											
教科書教材											
都度、配布する。											
回数	授業計画										
第1回	コピー本制作①個人制作/グループ制作の選択。										
第2回	コピー本制作②										
第3回	コピー本制作③										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 マンガコース

ワークショップ 2

第4回	コピー本制作④
第5回	コピー本制作⑤
第6回	コピー本制作⑥
第7回	コピー本制作⑦
第8回	コピー本制作⑧
第9回	コピー本制作⑨
第10回	コピー本制作⑩
第11回	コピー本制作⑪
第12回	コピー本制作⑫
第13回	コピー本制作⑬
第14回	コピー本制作⑭
第15回	まとめ。講評。